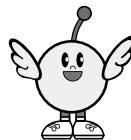


ふくしまの 今が分かる新聞



「ふくしまの今が分かる新聞」では、県内外に避難されている皆さまや被災者・避難者支援に携わる多くの方々へ、避難者支援の取組や福島復興に向けた動きなど、「ふくしまの今」が分かる情報をお届けします。



PICKUP VIEW

小浜海岸 (富岡町)

風光明媚なこの地には、今は土台のみを残す「ロウソク岩」があり、広く親しまれてきました。現在、富岡駅近くの高台にはロウソク岩をイメージした慰霊碑が建っています。また、天然の入り江を利用した日本一小さいと言われる小良ヶ浜漁港もあり、大正から昭和末期まで使われていました。富岡の歴史と深い関わりをもつ海岸には、今も静かに波が打ち寄せています。



避難指示解除区域等の学校を紹介します

- 福島県復興公営住宅の入居者募集について
- 商工団体のECサイトについて
- 県外に避難している高校生の就職支援について
- 避難等に係る精神的損害等に対する追加賠償について
- 甲状腺検査のアニメ動画の公開について
- 全国の生活再建支援拠点について

避難指示解除区域等の学校を紹介します

田村市(都路町)

① 田村市立都路小学校



震災から3年後に避難指示解除後、古道小学校、岩井沢小学校が再開。その後、両校が都路小学校として統合され今年度、創立7年目となります。地域の協力を得ながら、「小さな学校、大きな家族」をモットーに魅力ある学校創りに取り組んでいます。

所 田村市都路町古道字北町 24
 問 ☎0247-75-2004

② 田村市立都路中学校



都路中学校は、阿武隈山系の豊かな自然に囲まれた田村市都路町古道地区にある中学校です。全校生徒が23名と少人数で、保護者をはじめ地域の皆さんの手厚い協力を得ながら生徒一人ひとりを大切に教育活動を行っています。

所 田村市都路町古道字北町 4-6
 問 ☎0247-75-2009

南相馬市(小高区)

③ 南相馬市立小高小学校



小高小学校、福浦小学校、金房小学校、鳩原小学校は、令和3年度に統合し、新生「小高小学校」として開校しました。令和5年度は、南相馬市教育委員会から市内で初めて「外国語教育推進校」の指定を受け、認定こども園、中学校とともに英語教育の充実に力を入れています。

所 南相馬市小高区関場一丁目 77-1
 問 ☎0244-44-2022

④ 南相馬市立小高中学校



東日本大震災に伴う原子力発電所の事故により鹿島小学校の仮設校舎で授業を行っていましたが、平成29年度から本校舎での授業を再開しています。小学校とも連携を進めながら、夢に向かって努力する子どもの育成に取り組んでいます。

所 南相馬市小高区吉名字中坪 1
 問 ☎0244-44-2023

⑤ 県立小高産業技術高等学校



令和3年度より文部科学省のマスター・ハイスクール事業の指定を受け、産業界と一体となった最先端の職業人材育成システムを構築し、企業や大学等の専門家の指導の下、最新の施設・設備等を活用した学習プログラムを実践しています。

所 南相馬市小高区吉名字玉ノ木平 78
 問 ☎0244-44-3141

川俣町(山木屋地区)

⑥ 川俣町立山木屋小学校・中学校



川俣町立山木屋小・中学校(小学校は休校中)は震災7年後の平成30年4月1日に川俣町内仮校舎から現在の場所で小中一貫校として再開しました。現在は、通学区特認校として川俣町内一円を通学区としています。

所 川俣町山木屋字小塚山 9-1
 問 ☎024-563-2101 (小学校)
 ☎024-563-2104 (中学校)

広野町

⑦ 広野町立広野小学校



教育施設が隣接する「教育の丘」としての立地環境を生かして、広野こども園や広野中学校、ふたば未来学園高等学校との連携交流を図っています。また、「ひと・もの・こと」を自ら動きかけ、地域と連携しながら特色ある学習を実施しています。

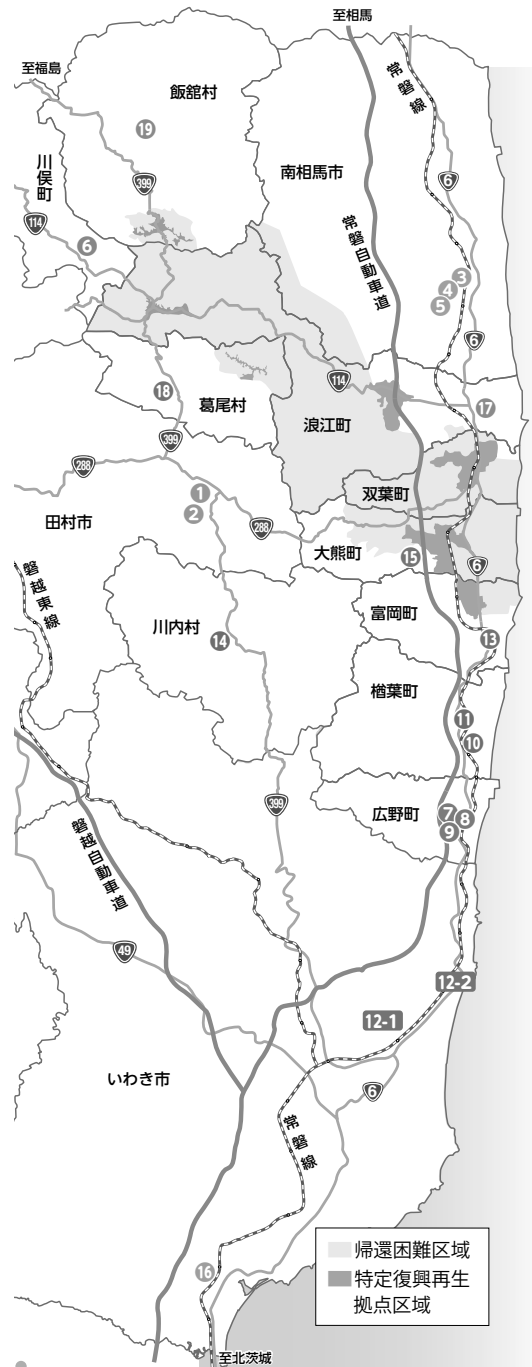
所 広野町中央台三丁目 1
 問 ☎0240-27-2332

⑧ 広野町立広野中学校



広野町の「ひと・もの・こと」との出会いを大切にしながら、広野町の魅力を発見・発信・創造する探究活動を展開しています。また、留学生との交流など海外の文化を感じることができる異文化教育にも力を入れています。

所 広野町大字下浅見川字築地 12
 問 ☎0240-27-3224



⑨ 県立ふたば未来学園中学校・高等学校



建学の精神に「変革者たれ」を掲げ、双葉郡バスターや海外研修など、地域や世界をフィールドとした探究学習を通して、新たな社会を創造するグローバル・リーダーの育成を目指した教育を実践しています。

所 広野町中央台 1-6-3
 問 ☎0240-23-6825

榎葉町

10 榎葉町立榎葉小学校



榎葉町立榎葉小学校は、榎葉南小学校と榎葉北小学校が統合し、令和4年4月に誕生しました。児童全員が安心して学び合う学校を目指し、縦割り班での活動等学年を超えた関わりを大切にしています。また、地域の方から直接学ぶ機会も多く取り入れています。

所 榎葉町大字下小高字麦入 31
間 ☎0240-25-8810

11 榎葉町立榎葉中学校



榎葉中学校では、地域の支援をいただきながら、6年目を迎える模擬会社「Nalys」の活動を通してキャリア教育の充実に励んでいます。生徒たちの商品開発や販売体験での主体的な学びの姿は地域を元気にさせてくれています。

所 榎葉町大字北田字鐘突堂 2-1
間 ☎0240-25-2010

富岡町

12-1 県立富岡支援学校いわき仮設校舎 12-2

東日本大震災に伴う原子力発電所の事故により、富岡支援学校の小学部は、いわき市にある聴覚支援学校平校敷地内に仮設校舎を設け、また、中・高等部の生徒は県立四倉高等学校の校舎の一部を改修し、学習活動に取り組んでいます。令和6年度中に双葉地区の特別支援学校として榎葉町で移転再開の予定です。

12-1 [小学部]
所 いわき市平馬目字馬目崎 61
間 ☎0246-34-7050



12-2 [中学・高等部]
所 いわき市四倉町五丁目 4
間 ☎0246-32-7172



13 富岡町立富岡小学校・中学校



町立富岡第一・第二小学校、富岡第一・第二中学校がそれぞれ統合し、令和4年度から新たに小中併設型・小中連携校「富岡小学校」「富岡中学校」として開校しました。自ら考え判断し行動する児童生徒を育て、コミュニティの拠点となる学校として取り組んでいます。

所 富岡町大字小浜字中央 237-2
間 ☎0240-22-2014 (小学校)
☎0240-22-2020 (中学校)

川内村

14 川内村立川内小中学園



令和3年4月に義務教育学校として川内村立川内小中学園を開校し、併設している幼保連携型認定こども園がわうち保育園とともに、0歳から15歳まで連携した小中一貫教育における連続した学びを実践しています。

所 川内村大字上川内字沼畑 125
間 ☎0240-38-2004

大熊町

15 大熊町立学び舎ゆめの森



大熊町では、令和5年4月、12年ぶりに帰町して学校を再開しました。0歳から15歳までの一貫教育を行う学び舎の新教育施設を現在、建設中です。(地域の方との交流の1つとして、大熊特産のイチゴでジャム作りを学ぶ活動も行いました。)

所 大熊町大字大川原字南平 2019-1
間 ☎0240-23-5341

双葉町

16 双葉町立双葉南・北小学校いわき仮設校舎・双葉中学校いわき仮設校舎



いわき市錦町の仮設校舎で教育活動を再開し10年目となります。幼・小(南小、北小)・中が同じ敷地内で学んでいます。校庭やプールはありませんが、限られた空間を有効活用しながら教育活動を行っています。

所 いわき市錦町御宝殿 56
間 ☎0246-88-8086 (小学校)
☎0246-88-8078 (中学校)

浪江町

17 浪江町立なみえ創成小学校・中学校

なみえ創成小学校・中学校は、小学校と中学校が併設する形の新設校として平成30年4月に開校しました。併設校としての特色を生かしながら、哲学対話をツールとした授業やふるさと体験などの活動にも力を入れ、学ぶ意欲や態度などの積極性を育み、豊かな人格形成を図っています。



所 浪江町大字幾世橋字来福寺西 73
間 ☎0240-23-5335 (小学校)
☎0240-23-5336 (中学校)

葛尾村

18 葛尾村立葛尾小学校・中学校



葛尾小中学校は、現在小学生14名、中学生5名が通学しています。少人数ならではの児童生徒一人ひとりに合わせたきめ細かな教育を実現するため、ICTを積極的に活用し、児童生徒の自主性を尊重したカリキュラムを実践しています。

所 葛尾村大字落合字西ノ内 50
間 ☎0240-29-2003 (小学校)
☎0240-29-2011 (中学校)

飯館村

19 飯館村立いたて希望の里学園



義務教育学校の特性を生かし、9年間の一貫教育を通して子どもたち一人ひとりのよさや可能性を最大限に引き出していきます。また、家庭や地域とのつながりを大切に、豊かな教育環境を生かし、いきいきと創意あふれる教育活動を展開しています。

所 飯館村伊丹沢字山田 380
間 ☎0244-42-0003

令和5年度福島県復興公営住宅の入居者募集について

復興公営住宅の入居者の募集を下記の日程で行います。

令和5年度	回	募集期間	入居予定
	第3回	令和5年8月1日(火)～令和5年8月9日(水)	令和5年10月以降
	第4回	令和5年10月2日(月)～令和5年10月11日(水)	令和5年12月以降
	第5回	令和5年12月1日(金)～令和5年12月11日(月)	令和6年2月以降
	第6回	令和6年2月1日(木)～令和6年2月9日(金)	令和6年4月以降



対象

- 避難指示区域等から避難されている方
- 平成23年3月11日時点で、避難指示が解除された区域に居住していた方
- 東日本大震災の地震・津波被災者
- 平成23年3月11日時点で中通り、浜通り(避難指示が継続している区域を除く)に居住していた方

※住宅に困窮していることが要件となります。

募集の詳細(対象団地・応募要件等)は、福島県復興公営住宅入居支援センターへお問い合わせください。

問 福島県復興公営住宅入居支援センター
☎024-522-3320



商工団体のECサイトについて

商工会連合会では、生産者の顔が見えるECサイト「シオクリビット」を運営しています。「いいもの」をつくっている生産者(シオクリビット)の人柄を知り、丹精込めて作られた県産品を購入できるサイトです。生産者を身近に感じることができるECサイト「シオクリビット」をぜひご利用ください。(福島県経営金融課)

問 福島県商工会連合会 ☎024-525-3411

ホームページは
こちら



県外に避難している高校生の就職支援について

福島県出身者で、現在県外に避難している高校生のうち、高校卒業を機に福島県内の企業へ就職を希望する生徒に対して、県内の各高校に配置した進路アドバイザーが、就職を希望する地区の企業求人情報を提供します。

求人情報の提供を希望する生徒は、現在通っている高校の進路指導担当(またはクラス担任)の先生を通して、相談窓口にお問い合わせください。その際、「現在通学している学校名」「学校の連絡先」「就職を希望する地区」「希望する業種や職種」「帰還予定時期」などをご連絡ください。各地区の進路アドバイザーが、希望に即した企業の求人情報を送付します。

問【事業に関する問い合わせ】福島県教育庁高校教育課 ☎024-521-7773

問【相談窓口】(株)福島人材派遣センター 進路アドバイザー係 ☎024-521-5111

避難等に係る精神的損害等に対する追加賠償について

中間指針第五次追補決定等を踏まえた追加賠償について、東京電力は令和5年4月10日からウェブサイトや請求書による請求受付を開始しています。

詳細や最新の情報は、東京電力の専用ページをご覧ください。専用ダイヤルにお問い合わせください。(福島県原子力損害対策課)

東京電力ホールディングス株式会社 福島原子力補償相談室

中間指針第五次追補決定における
精神的損害等の賠償に関する専用ページ



二次元コードまたはキーワード検索からアクセスください。

東京電力 追加賠償 検索

中間指針第五次追補決定に係る
精神的損害等の賠償に関するご相談専用ダイヤル

問 ☎0120-926-470

受付時間 午前9時～午後7時(月曜～金曜【除<休祝日>])
午前9時～午後5時(土曜・日曜・休祝日)

甲状腺検査のアニメ動画の公開について

福島県が実施している甲状腺検査をわかりやすく紹介するため、全編アニメーションの解説動画を製作し、YouTubeにて公開しました。全3話構成で、検査実施の経緯と目的、受診方法、検査のメリット・デメリットやサポート体制について紹介しています。1話5分程度。1分程にまとめたダイジェスト版もあります。

甲状腺検査は震災時に福島県内にお住まいだった方で概ね18歳以下であった方を対象にした検査です。子どもたちの甲状腺の状態を把握し、健康を見守ることを目的に実施しています。

問 福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター
コールセンター ☎024-549-5130 (午前9時～午後5時)
※土日・祝日・12/29～1/3を除く

動画は
こちらから



全国の生活再建支援拠点(相談窓口)について

福島県では、避難先での生活再建や帰還に向けた相談・情報収集ができるよう、全国に「生活再建支援拠点」を設置しています。対面や電話による相談対応のほか、交流会を開催していますので、お困りごとなどがあれば、お気軽にご相談ください。

★ 1 7 21	ふくしまの今とつながる相談室 toiro【全国】 ☎024-573-2731 避難されている方、避難先から戻られた方それぞれの悩みは十人十色。悩みごと、困りごと、福島の知りたい情報などがありましたら、お気軽にご相談ください。	13	東日本大震災・山梨県内避難者と支援者を結ぶ会【山梨・長野】 ☎090-3088-4749	22	ひろしま避難者の会「アスチカ」【島根・広島・山口】 ☎0120-24-2940
2	あきたパートナーシップ【青森・岩手・秋田】 ☎018-829-2140	14	石川県災害ボランティア協会【富山・石川・福井】 ☎090-9294-6355	23	えひめ311【徳島・香川・愛媛・高知】 ☎070-5515-2217
3	福島県外避難者相談センター(宮城拠点)(みやぎ連携復興センター)【宮城】 ☎080-9259-7049	15	福島県外避難者相談センター「ここそこ」(静岡県公認心理師協会)【静岡】 ☎0120-42-2828/054-204-6177	24	つなぎ te おおむた【福岡・佐賀・長崎・熊本】 ☎080-7980-9295
4	山形の公益活動を応援する会・アミル【山形】 ☎023-674-0606	16	愛知県被災者支援センター【愛知】 ☎052-971-2030	25	つなぎ te みやざき(つなぎ te おおむた)【大分・宮崎・鹿児島】 ☎080-3965-2190
5	ふうあいねっと【茨城】 ☎070-3182-4044	17	レスキューストックヤード(ふくしま支援室)【岐阜・三重】 ☎052-212-8155	26	沖縄じゃんがら会(まちなか研究所わくわく)【沖縄】 ☎080-6498-6720(事務局) ☎070-5484-1125(相談)
6	とちぎボランティアネットワーク【栃木】 ☎028-622-0021	18	なごみ【滋賀・京都】 ☎080-8146-5034		
8	福玉相談センター(埼玉広域避難者支援センター)【埼玉】 ☎0120-60-7722	19	福島県外避難者相談センター「サスケネ」(よりそいネットおおさか)【大阪・奈良・和歌山】 ☎06-6773-9674		
9	福島県外避難者相談センター(ちば)(ちば市民活動・市民事業サポートクラブ)【千葉】 ☎080-5418-7286	20	ひょうご3・11ライン(TICC)【兵庫】 ☎06-6439-7399		
10	医療ネットワーク支援センター【東京】 ☎03-6911-0584		とっとり震災支援連絡協議会【鳥取】 ☎0857-22-7877/090-8064-9630		
11	かながわ避難者と共にあゆむ会【神奈川】 ☎070-5577-0311				
12	福島県生活再建支援拠点コランショ新潟(新潟県社会福祉士会)【新潟】 ☎025-211-2111				



令和5年7月1日現在

生活再建支援拠点の詳細についてはこちらを検索

ふくしま連携復興センター 生活再建支援拠点 検索



拠点紹介 【兵庫】 ひょうご3・11ライン(一般社団法人TICC)

今年度から福島県生活再建支援拠点として兵庫県に避難されている皆様のご相談をお受けさせていただくこととなりました「一般社団法人TICC」です。ひょうご3・11ラインとして、経済的なことや子どものこと、生活全般の相談を社会福祉士・精神保健福祉士が伺います。「こんなこと相談してもいいのか?」と思うことでも、まずご連絡ください。



12月には交流会を計画しており、相談員や弁護士、医師などが会場で耳寄りなミニ講座や座談会を行う予定です。

8月・9月・2月には、皆様に「ほっ」と一息ついていただけるような茶話会「ほっと茶話会」も計画中です。ひょうご3・11ラインにお気軽にご連絡ください。

開所日 開所時間 午前9時30分～昼12時30分、午後1時～午後4時
月曜・水曜・木曜 ☎06-6439-7399

相談員からの一言 最新の耳寄りな情報や「便り」をお届けします。是非 QRコードから登録ください！(相談員 大岡)



拠点紹介 【大阪・奈良・和歌山】 福島県外避難者相談センター「サスケネ」(一般社団法人よりそいネットおおさか)

今年度から大阪・奈良・和歌山を受け持つことになりました「一般社団法人よりそいネットおおさか」です。新しく大阪府社会福祉会館3階に、「福島県外避難者相談センター「サスケネ」」をオープンしました。電話、メールなどでも常時相談を受けることができるようになっています。また、避難者の方の様々なニーズに応えられるように、精神保健福祉士や社会福祉士など経験が豊かな方にも専門相談員として参加いただいております。お気軽にお立ち寄りください。



開所日 火曜・木曜・金曜
開所時間 午前9時～午後5時 ☎06-6773-9674

相談員からの一言 避難者の方々へ寄り添い、私たちの経験とこれまで培ってきたネットワークを生かした支援を行っていきたく思います。(相談員 岡本)

全国避難者情報システム等への避難情報の届出のお願い

避難情報に変更(転居や帰還など)がありましたら、避難先の市区町村へ「全国避難者情報システム」の届出をお願いします。届けた所在地宛てに、福島県や避難元市町村からのお知らせなどを送付できるようになります。

併せて、13指定市町村(*)から避難されている方は、原発避難者特例法に基づく届出も避難元市町村宛てにご連絡いただくようお願いします。避難先においても一定の行政サービスを受けることができますようになります。

13指定市町村(*) いわき市、田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、川内村、葛尾村、飯館村

問 福島県避難者支援課 ☎024-523-4250

全国避難者情報システムへの届出

① 避難先の変更がある場合 (転居など)	② 避難を終了する場合 (帰還・定住など)
①の場合	②の場合
現在お住まいの避難先市区町村及び転居後の避難先市区町村の双方へ届出	現在お住まいの避難先市区町村へ届出

原発避難者特例法に基づく届出

13指定市町村から避難されている方で、避難情報に変更がある場合、避難元市町村へ届出

ふくしま Voice

第32回

インタビューの様子はYouTube動画でも配信しています。右上の二次元コードからご覧ください。

ふるさとに帰還した人、まちに移住してきた人の「いま」をご紹介します。

インタビューの様子はコチラ!



山木屋は私の心が一番安まる場所

▶ 紺野 希予司さん (川俣町山木屋地区)



「幻のそば」と呼ばれていた「高原の宇宙」。宿泊して山木屋地区を楽しんでもらおうと、店の隣にはコテージも建設。

川俣町山木屋で生まれ育ち、電気工事会社や代々続く雑貨店を営んでいた紺野さん。東日本大震災後、川俣町では山木屋地区だけが避難対象となり、町内の別地区に避難しました。「長年頑張ってきた事業がここで途絶えてしまうのかと思ったらやるせなくて…でも誰も悪くない。そう思うとただただ悲しかったですね」と当時のつらい胸の内を話してくれました。

平成29年3月の避難指示解除と共に山木屋地区に帰還。この地区を守っていくためには賑わいをつくらなければと一念発起し、同年9月にそば屋「語らい処やまこや」をオープンしました。お店では、震災後に復活を果たした山木屋在来のそば粉「高原の宇宙」を使ったそばを提供し、近隣住民の憩いの場としてだけでなく、法事やお墓参りで帰省した人たちが集う場所になっています。「私にとって山木屋は心が一番休まる場所。そんなところはここ以外にありません。その大好きなまちが活気あふれる場所になるためには若者の力が必要です。今後は「高原の宇宙」を山木屋の主要産業に育てることで、若い世代の移住が少しでも進むように力を尽くしていきたい」と山木屋地区への愛を語ってくれました。

読者アンケート

お答えいただいた方に抽選で、福島県の素敵な特産品をプレゼント!

郵便はがきもしくは、福島県避難者支援課へのメールに①～③の必要事項をご記入の上、お送りください。

アンケート

福島県では県外に避難している方々の生活再建や帰還の検討などの相談窓口として、全国26か所に「生活再建支援拠点」を設置しています。

1. 利用したことがある 2. 聞いたことはある 3. 全く知らない

応募締切 ▶ 2023年 8月31日(木)

- ※当日消印有効
- ※個人情報とは賞品の発送にのみ使用します。
- ※アンケートの回答は紙面で紹介させていただく場合があります。

(郵便はがきでの応募の場合)

960-8670

福島県庁
避難者支援課
「ふくしまの今
が分かる新聞」
係

- ① アンケート回答
② 記事の感想、今後
取り上げて欲しい
情報、紙面や県
政へのご意見
③ 住所・氏名・
年齢・電話番号

(メールでの応募の場合)

二次元コードを読み込むか
下記のアドレスを打ち込み、
①～③の必要事項をご記入
の上送信してください。



hinanshashien@pref.
fukushima.lg.jp

ASAKAMAI 887 あまざけ(500ml×2本)

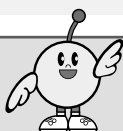
宝来屋本店(郡山市)



抽選で
10
名様

郡山市の最高級プレミアムブランド米「ASAKAMAI 887」を使用し、百年伝承の糺製法から生まれた宝来屋の最高級あまざけ。「お米って、すごい。」そう感じられる逸品です。

ふくしまが
もっと分かる



バックナンバーもチェック!

福島 今が分かる新聞

検索

